

## 小児看護学実習

2 単位 (必修) 3 年

### Clinical Practice in Pediatric Nursing

谷 洋江・准教授 / 保健学科 看護学専攻 母性・小児看護学講座, 橋本 浩子・助教 / 保健学科 看護学専攻 母性・小児看護学講座

【授業目的】 小児とその家族を対象に、成長発達段階および健康レベルに応じた適切な看護を実践するための基礎的能力を養う。

【授業概要】 小児とその家族に対する看護実践に必要な知識・技術・態度を臨床実習を通して学ぶ。

【キーワード】 小児, 家族, 看護

【先行科目】 『小児看護学概論』(1.0), 『小児援助論』(1.0)

【履修上の注意】 出席状況・目標達成度に応じて補講を課すこともある。

#### 【到達目標】

1. 小児の成長発達段階をアセスメントし、発達過程に応じた援助ができる。
2. 小児の健康問題が小児とその家族に及ぼす影響を述べるができる。
3. 小児の健康問題を総合的に把握し、小児の発達段階に応じた看護を計画、実施、評価できる。
4. 保健医療チームの一員としての役割を理解し、看護活動に参加できる。
5. 小児の安全を守るために必要な援助ができる。

#### 【授業計画】

1. 徳島大学病院小児医療センターおよび小児科外来において実習を行う。
2. 2週間の実習を行う。
3. 病棟実習では原則として1名の患者を受け持って看護過程を展開する。
4. 外来実習では、家庭で療養生活を送る子どもと家族への看護援助について学ぶ。

【成績評価】 実習目標の達成度、実習態度、カンファレンスの参加度、記録物、出席から評価する。

#### 【教科書】

- ◇ 奈良間美保編著 小児看護学1 医学書院
- ◇ 奈良間美保編著 小児看護学2 医学書院

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=217873>

#### 【連絡先】

- ⇒ 谷洋江 [tani@medsci.tokushima-u.ac.jp](mailto:tani@medsci.tokushima-u.ac.jp) (オフィスアワー: 木曜日16:00~17:30)
- ⇒ 橋本浩子 [hiroko@medsci.tokushima-u.ac.jp](mailto:hiroko@medsci.tokushima-u.ac.jp)